

困いやま森の会 観察記録

2008.7.06 野口 功

日 時: 2008.7.05 (土) 10~12時 天気: 晴

記録・写真: 山田幸子、池田稔夫

「2百年の子供」の中には、(千年スダジイ)のうろで、主人公の3人組が眠る話しができます。「ゲド戦記」の中には、(ハンノキ)と呼ばれている男性ができます。小説の中には、植物や樹木の名前が、さりげなくできます。好きな本のなかに、知っている生き物が出てくると、とても嬉しいものです。名前がわかると、親しみが湧いてくるのは、誰でも一緒ですね。それにしても、キノコはかなり難しいものです。姿はよくみかけますが、名前を識別するのは、至難の技です。今回は、そんなつれないキノコを中心に観察してみました。

- 1)キノコの栄養のとりかたは、大きくわけて2つあります。1つは、枯れた木や落ち葉を分解する腐生性のキノコです。シイタケ・ヒラタケ・ナメコ・サルノコシカケ・ホウライタケの仲間などがそうです。もう一つは菌根をつくり、樹木と共生するキノコです。マツタケ・ハナイグチ・ベニテングタケなどがそうです。ハリエンジュの切り株にでているベッコウタケは、腐生性のキノコです。前回よりも成長していました。食用不可で、心材の白腐れをおこします。今日のオススメのキノコはダイダイガサです。オレンジ色でぽっちゃりとした姿で、砂糖菓子のような可愛いキノコです。残念なことに、食用不可です。
- 2)エゴネコアシが、今年も健在です。写真は池田さんの撮影です。エゴノキの実の用い、茎の先端に見ることができます。ネコの足型の虫こぶの中には、エゴネコアシアブラムシがいます。幼虫を腕に載せると、口吻で皮膚を刺し、軽いかゆみを引き起こします。興味のある方はやってみてください。
- 3)モンシロチョウに似ているスジグロシロチョウが観察できます。翅に黒線が目立ちます。モンシロチョウに比べて、日陰で見られます。オスの体からは、柑橘系の香りがします。捕まえた時には、一度香りを嗅いでみてください。
- 4)ハリエンジュの切り株から、土の中を通過して根からの萌芽が観察できます。切り株からも萌芽がでています。ハリエンジュは凄い繁殖力で、増えていくものですね。
- 5)イヌシデの根元に、シラカシの実生が育っています。ちょっと面白い光景です。

開花植物

草本 ノゲシ・オニタビラコ・ハルジオン・オオイヌノフグリ・ハコベ・ハキダメギク・ギンギシ・
オオバコ・コヒルガオ・ドクダミ・ツユクサ・スズメノテッポウ・スズメノカタビラ・アカツメクサ・
ハエドクソウ・リュウノヒゲなど

木本 アカメガシワ・ムラサキシキブ・ネズミモチなど

鳥 コジュケイ・ヒヨドリ・シジュウカラ・コゲラ・ハシブトガラスなど

昆虫 クロウリハムシ・オオヒラタシデムシ・アワフキ・ホソヒラタアブ・ミスジマイマイ・ザトウムシ・
ヤブキリの仲間・キンバエの仲間・ダンゴムシ・ゴミムシ・ナナフシ・シャクトリムシ・スズメバチ・
クロアゲハ・アオスジアゲハ・スジグロシロチョウ・ヒカゲチョウ・ノシメトンボ・
オニヤンマの仲間など

キノコ カワリハツ・イタチタケ・カワラタケ・ベッコウタケ・ツヤウチワタケ・ダイダイガサ・
アラゲキクラゲなど

クモ クサガモ・サツマノミダマシ・オナガグモ・オオシロカネグモ・ジョロウグモ・
ナガコガネグモの幼体

園いよまの森

2008.7.5(土) 晴 山田幸子、池田稔夫

小暑：梅雨明けが近づき、セミが鳴き始め、ヤモリが壁を伝い、夏らしくなってきました。エダマメ・ビールが美味しい季節です。森の中は湿度が高く、キノコがいたる所で生長しています。



森の南の広場



切り株からハリエンジュが～



イヌシテの根元からシラカシの実生



サフフタギ



エゴ/ネコアシ



オオシロカネグモ



カニグモの仲間



アラゲキクラゲ



カワラタケ



カワリハツ



イタチタケ 4兄弟



ダイダイガサ



ツヤウチワタケ



ベッコウタケ



ミスジマイマイの赤ちゃん